



株式会社 大和電機製作所
Yamato Electric Works Co., Ltd.

環境経営レポート 2023

(対象期間：2023年7月～2024年6月)



®環境省

エコアクション21

認証番号 0004213

1. 事業活動の概要
2. 環境基本理念及び環境経営方針・目標
3. 2023年実施体制・認証範囲
4. 環境経営計画
5. 環境経営 数値目標
6. 取組の結果と評価及び改善点
7. 環境関連法規制等の遵守状況、違反、起訴等の有無
8. 代表者による全体評価と見直し
経営課題とチャンス



弊社施工（元請け）により津波などの自然災害から地域を守る遠隔監視システムを導入した
静岡県磐田市のぼう僧川水門。県内の水門管理システムの多くは弊社が施工しています。



2024年8月22日発行（8月 日改訂）

1:事業活動の概要

1. 事業者名・代表者名 株式会社 大和電機製作所
代表取締役 柳澤 美由紀
2. 所在地及び連絡先

〒424-0065 静岡県清水区長崎172-2
TEL: 054-345-0940 FAX: 054-345-1114
Email: eco-info@yamatoss.com
ホームページアドレス:yamatoss.com/yamatoss/
3. 環境管理責任者・担当者 環境管理責任者 柳澤 康輔(取締役)
環境管理事務局 阿部 公直(環境管理主任)
宮澤 圭輔(事務局)
4. 事業内容 電気工事・情報通信工事(設計・施工・保守)
○津波対策水門監視制御システム企画提案、設計施工、保守点検
○河川水位観測システム企画提案、集中監視及び遠隔制御保守点検
○道路・公共施設の照明灯設備工事
○電子デバイス販売
5. 建設業許可番号 電気工事業・電気通信工事業
許可番号: 県知事許可(特-2)第10272号
許可有効期限: 令和3年 3月24日～令和8年 3月23日
機械器具設置工事業
許可番号: 県知事許可(般-2)第10272号
許可有効期限: 令和3年 3月24日～令和8年 3月23日
6. 設立・沿革 昭和43年 4月20日 創業
昭和48年12月21日 設立
7. 事業規模 (事業年度 7月1日～6月30日)
- | 事業規模 | 単位 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 |
|------|----------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 売上高 | 百万円 | 610 | 648 | 1050 | 398 | 303 |
| 従業員数 | 人 | 15 | 16 | 16 | 15 | 14 |
| 床面積 | m ² | 481.11 | 481.11 | 481.11 | 481.11 | 481.11 |
| 工事件数 | 件 | 79 | 58 | 39 | 23 | 16 |
8. 表彰

静岡市 優良工事部門(電気) 平成29年・令和元年
静岡県 地域貢献部門(総合流域防災事業) 平成26年
静岡県 優良技術部門 平成26年・27年
静岡県 優良工事部門 平成28年・29年・30年
その他 中部電力、沖電気等民間事業者より表彰
エコアクション21事務局 10年継続記念表彰

2： 環境基本理念及び環境経営方針・目標

環境基本理念

株式会社大和電機製作所は、健全な環境が人間の健康で文化的な生活に欠くことができないものであることを社員ひとり一人が認識し、情報・通信・制御をテーマに「地球への環境負荷の低減」と「循環型社会の実現」に努力し、生き生きとした地域社会の実現を目指します。

環境経営方針

1. 環境経営を常に意識し、環境負荷の低減と環境保全の活動を継続的にを行います。
2. 環境関連法規制等の要求事項を遵守します。
3. P D C A サイクルを実施し、以下の項目を重点テーマとして取り組みます。
 - ・省エネルギー推進による CO₂ の排出量の削減
 - ・廃棄物の 3 R (Reduce/Reuse/Recycle) 推進
 - ・作業環境改善による無駄の削減
4. 社内において環境経営レポートを活かし、環境保護意識の向上に努めます。
5. 環境に配慮した企画、設計、提案、事業開発に努めます。

環境経営目標

エコアクション21を活用して

企業価値（工事の品質・安全性・信頼性）を高めよう！

環境負荷とコスト削減で、厳しい時代をチャンスと捉え、挑戦しよう！

働き方改革・福利厚生重視により社員満足度を高め、社員の活力を引き出そう！

社員・家族・お客様に誇れる会社になろう！

持続可能な社会を構築しよう！

ご挨拶



弊社は皆様の暖かいご支援を頂きながら、今年で設立50年目を迎えました。節目に伴い、約半世紀に及び弊社を導いてきた前社長荒井進が令和3年12月22日をもって勇退されました。退任にともない、私、柳澤美由紀が代表取締役就任する運びとなりました。この大任を授かりましたうえは変化を求められる時代において、今後も人と環境に優しく、かつ先進技術を駆使したシステムで引き続き地域社会に貢献してゆく所存です。引き続き、社員一同、力を合わせ社業発展に身を尽くして参ります。

制定日 2008年7月1日（改定日2021年12月22日）

株式会社大和電機製作所 代表取締役 柳澤美由紀

会社の全事業及び全組織を活動範囲とします。

事業所内活動

- ① オフィス活動(事務作業・施設管理)
- ② 施工計画・設計業務に係わる活動
- ③ 電子デバイス業務における在庫管理・発送業務に係わる活動
- ④ その他の活動(地域貢献等)

建設作業現場活動

- ① 保守点検業務における点検・修繕・保全作業に係わる活動
- ② 電気工事業務における施工・修繕・解体工事に係る活動

レポートの対象期間

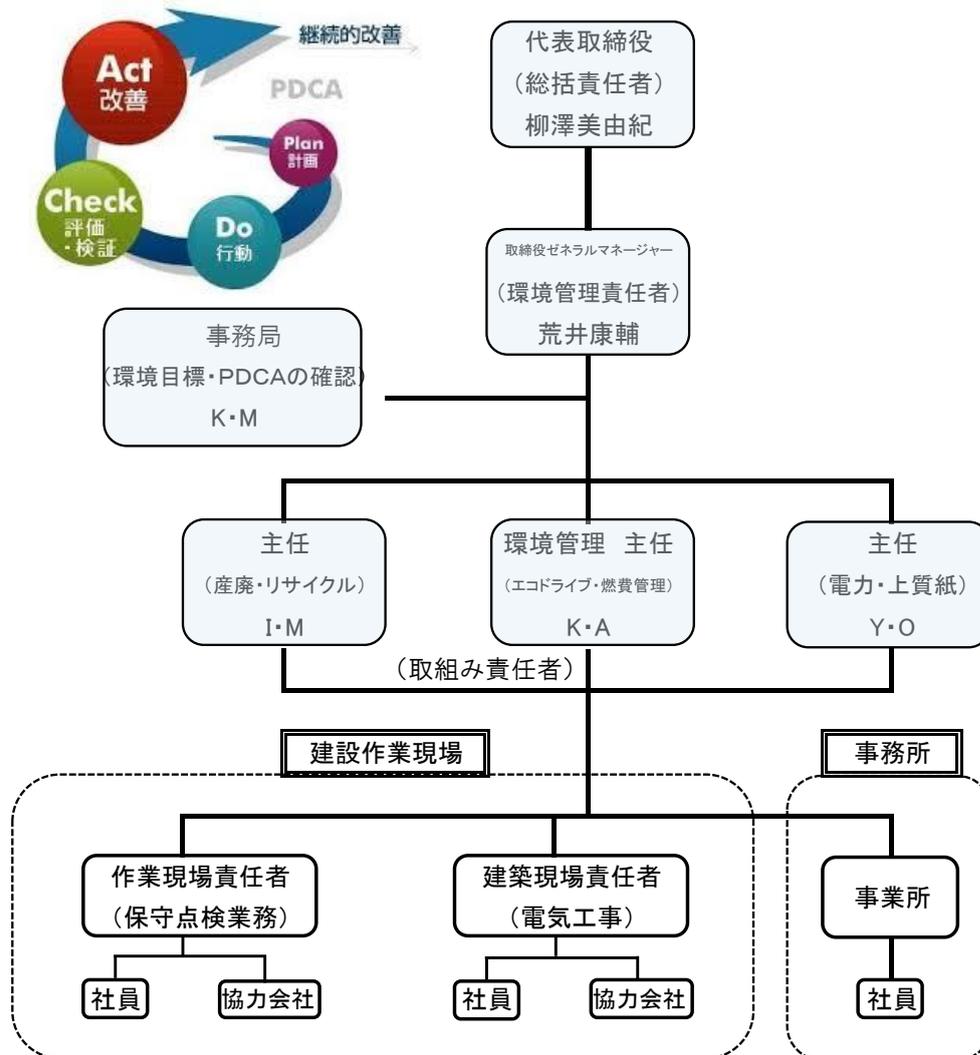
令和5年7月1日 ~ 令和6年6月30日

発行日

令和6年8月22日



3 : 2023年実施体制・認証範囲



総括責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の策定 ・環境経営目標の決定 ・環境管理責任者を指名 ・資源(人材・資金・技術)の用意 ・PDCA全体の評価と見直し
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・システム総責任者としての役割権限を他の責任係に係らず持つ ・システムの実績を代表者に報告 ・月例会議において、PDCAサイクルの現状・改善点を伝達
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・全体計画の立案 ・文書の作成、管理、システム運用上の事務管理 ・PDCAにおける数値目標と実数の把握と伝達
一般・産業廃棄物リサイクル管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・一般廃棄物量及び産業廃棄物量の把握 ・ゴミの分別収集管理 ・廃棄物量削減及びリサイクルの推進
エコドライブ車両管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・ガソリン・軽油・灯油使用量の管理 ・エコドライブの推進 ・運行管理・車両管理
電力・水道・ガス事務用品管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・光熱費削減の推進 ・上質紙使用量の削減 ・グリーン購入の推進

4.環境経営計画

・ 2023年度の主要な環境経営計画(具体的取組内容)

環境経営方針	環境項目	環境活動計画 - 具体施策 -
省エネルギーの推進によるCO ₂ 排出量の削減	電力使用量の削減(空調・照明・OA機器)	<ul style="list-style-type: none"> ・不要時の消灯 ・エアコンの温度調整(適温) ・長期間使用しないパソコン電源OFFの徹底 ・更新時に省電力型機器への変更 ・業務効率を良くし、残業・休日出勤の削減 ・クールビズ・ウォームビズの推進 ・業務上使用する設備機器の省エネ化を推進する
	燃量使用量の削減(現場移動及び作業時)	<ul style="list-style-type: none"> ・運行管理の徹底 ・車両の点検整備 ・エコドライブ10のすすめの実行 ・車両購入の際は低燃費車を選定 ・効率の良い施工により、工期短縮を推進
/ (Reduce/Reuse) の推進	廃棄物の分別の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・分別管理の徹底及び適正処理 ・コピー用紙の裏面活用、両面印刷の意識 ・電子媒体の活用による印刷抑制 ・混合廃棄物の排出削減
	作業現場でのゴミの適正処理	<ul style="list-style-type: none"> ・分別管理の徹底及び排出抑制 ・材料納入業者への梱包材軽減協力の推進 ・マニフェストによる適正処理確認の徹底
作業環境改善による削減	上水利用量の抑制	<ul style="list-style-type: none"> ・不要な水の垂れ流し禁止 ・使用後の止栓励行 ・定期的漏水点検
作業環境改善による削減	購入量の抑制と廃棄物再使用の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・書類の簡素化、ペーパーレス化の推進 ・両面印刷及び裏紙使用の推進 ・封筒等再利用の推進
と環境負荷の低減と環境保全の継続的活動	グリーン購入製品の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・事務用品の購入はグリーン購入法の指定製品を積極的に購入(食品、飲料、日曜生活品は除く)
と環境負荷の低減と環境保全の継続的活動	地域貢献活動	<ul style="list-style-type: none"> ・地域環境活動への積極参加(推進) ・施工箇所周辺の除草

・ 教育・訓練計画

項目	活動内容
教育訓練の実施	定例会を活用した研修の開催(年1回以上)
教育訓練の実施(現場)	工事工期中は、月に1回4時間以上
PDCAサイクルの実施と点検	月例会を活用し、取組実績を報告、評価、改善を実施

5.環境経営 数値目標

(事業年度 7月1日～6月30日)

No.	取組項目		単位	基準値	年次計画				
				過去3年平均	2021	2022	2023		
1	二酸化炭素排出量	購入電力量		kWh		-0.5%	-1.0%	-2.0%	
					24,150	24,029	23,909	23,667	
		化石燃料	灯油		L		-0.5%	-1.0%	-1.5%
						772	768	764	760
			都市ガス		kg		-0.5%	-1.0%	-1.5%
						10.53	10.48	10.43	10.38
		ガソリン		L		-0.1%	-0.3%	-0.5%	
					7,372	7,364	7,350	7,335	
		軽油		L		-1.0%	-2.0%	-3.0%	
					468	463	459	454	
二酸化炭素総排出量合計		kg-CO ₂		31,649	-0.3%	-0.6%	-0.9%		
					31,554	31,459	31,364		
2	廃棄物排出量	一般廃棄物		kg		-1.0%	-2.0%	-3.0%	
					677	670	663	657	
	産業廃棄物		kg		-1.0%	-2.0%	-3.0%		
				5,999	5,939	5,879	5,819		
廃棄物排出量合計		kg		6,676	-1.0%	-2.0%	-3.0%		
					6,609.24	6,542.48	6,475.72		
3	水使用量目標		m ³		-1.0%	-2.0%	-3.0%		
				107	106	105	104		
4	上質紙購入量		kg		-2.0%	-4.0%	-6.0%		
				393	385	378	370		
5	グリーン購入	(グリーン商品件数/事務用品件数)	%		+0.3%	+0.6%	+0.9%		
				44.7	45.2	45.5	45.8		
6	地域貢献活動		数値目標とする事ができないが、社員の意識高揚をして活動に努める						

注1) 購入電力の排出係数は中部電力平成30年度実測値(0.452 kg-CO₂/kWh)を使用

注2) 基準年数値は、過去3年間(2018～2020年)の平均とする

2023年度 環境目標数値・実績値(増減率)

(2023/7月~2024/6月)

No.	環境目標	2023年度	期間	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	年計	対基準年比 目標	対基準年比削 減結果		
1	CO ₂ 排出量の削減	購入電力量 kWh	基準実績 (過去3年平均)	2,135	2,603	2,671	1,792	1,747	2,242	2,697	2,559	2,146	1,920	1,638	1,779	24,150				
			2023年度目標	2,093	2,551	2,618	1,756	1,712	2,197	2,643	2,508	2,103	1,881	1,606	1,743	23,667	-2.0%			
			2023年度実績	2,901	2,623	2,782	1,899	1,732	2,133	2,676	2,691	2,293	1,700	1,598	1,826	26,854		11.2%		
		灯油 リットル	基準実績 (過去3年平均)	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0		
			2023年度目標	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	-1.5%	
			2023年度実績																	#DIV/0!
		都市ガス kg	基準実績 (過去3年平均)	0.10	0.17	0.10	0.10	0.50	1.40	2.07	2.37	1.77	1.60	0.37	0.13	10.53				
			2023年度目標	0.10	0.16	0.10	0.10	0.49	1.38	2.04	2.33	1.74	1.58	0.36	0.13	10.38	-1.5%			
			2023年度実績	0.10	0.00	0.00	0.00	0.10	0.10	0.50	0.30	0.20	0.20	0.10	0.10	1.70		-83.9%		
		ガソリン リットル	基準実績 (過去3年平均)	693	710	482	769	660	644	695	835	812	657	413	758	7,372				
			2023年度目標	690	707	479	765	657	641	692	831	808	654	411	754	7,335	-0.5%			
			2023年度実績	399	211	359	317	377	371	422	382	294	227	389	397	4,144		-43.8%		
軽油 リットル	基準実績 (過去3年平均)	97	36	58	73	49	0	33	61	34	14	13	19	468						
	2023年度目標	93.96	35.05	56.58	70.33	47.79	0.00	32.12	59.62	32.52	13.58	12.55	17.98	454.09	-3.0%					
	2023年度実績	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		-100.0%				
二酸化炭素 総排出量合計 kg-CO ₂	基準実績 (過去3年平均)	2,880	2,880	2,880	2,880	2,880	2,880	2,880	2,880	2,880	2,880	2,880	2,880	34,563						
	2023年度目標	2,854	2,863	2,863	2,863	2,863	2,863	2,863	2,863	2,863	2,863	2,863	2,863	34,356	-0.9%					
	2023年度実績	2,237	1,675	2,090	1,593	1,658	1,825	2,189	2,103	1,719	1,295	1,624	1,746	21,755		-37.1%				
2	廃棄物の排出量削減 (省資源、3R)	一般廃棄物 kg	基準実績 (過去3年平均)	64	50	67	56	57	51	49	63	59	61	99	47	677				
			2023年度目標	62.53	48.90	65.07	53.99	55.52	49.21	47.87	60.92	57.21	59.30	96.30	45.57	656.83	-3.0%			
			2023年度実績	166	34	35	37	32	84	22	47	70	20	47	178	772		14.0%		
		産業廃棄物(リ サイクル含む) kg	基準実績 (過去3年平均)	640.3	200	847	1,077	64	0	30	2,147	344	160	491	0	5,999				
			2023年度目標	621.1	194.0	821.6	1,044.4	61.8	0.0	29.1	2,082.3	333.7	155.5	475.9	0.0	5,819.4	-3.0%			
			2023年度実績								3,460	2				3,462		-42.3%		
廃棄物 排出量合計 kg	基準実績 (過去3年平均)	704.8	250.4	914.1	1,132.3	120.9	50.7	79.4	2,209.5	403.0	221.5	590.0	6,447.0	6,676.0						
	2023年度目標	683.7	242.9	886.7	1,098.4	117.3	49.2	77.0	2,143.2	390.9	214.8	572.3	6,253.6	6,475.7	-3.0%					
	2023年度実績	165.7	34.0	35.0	36.8	32.3	84.5	22.1	3,507.0	71.7	20.0	46.7	178.3	4,234		-36.6%				
3	節水の推進	上水道 m3	基準実績 (過去3年平均)	7	13	5	14	4	14	5	13	4	13	4	12	107				
			2023年度目標	7	12	5	13	4	13	5	13	4	12	4	12	104	-3.0%			
			2023年度実績	16	0	11	0	11	0	11	0	9	0	9	0	67		-37.4%		
4	上質紙購入量の抑制	上質紙 kg	基準実績 (過去3年平均)	84.00	0.00	70.00	70.00	0.00	0.00	28.00	0.00	27.80	0.00	100.07	13.33	393				
			2023年度目標	78.96	0.00	65.80	65.80	0.00	0.00	26.32	0.00	26.13	0.00	94.06	12.53	369.61	-6.0%			
			2023年度実績	63.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	42.00	0.00	0.00	0.00	105.00		-73.3%		

6.取組の結果と評価、及び改善点

環境活動実績（2023年6月～2024年6月）

No.	取組項目	単位	基準 (過去3年 平均実績)	2021年 目標 実績	2022年 目標 実績	2023年 目標 実績	対基準 年比削減 目標 (%)	対基準年比 削減結果 (%)	評価		
1	購入電力量	kWh	24,150	24,029	23,908	23,667	-2.0%	11.2%	×		
				26,862	25,887	26,854					
	二酸化炭素排出量	化石燃料	灯油	L	772	768	764	760	-1.5%	-100%	○
						0	0	0			
			都市ガス	kg	10.53	10.48	10.42	10.37	-1.5%	-83.9%	○
						6.20	3.00	1.70			
			ガソリン	L	7,372	7,365	7,350	7,334	-0.5%	-43.8%	○
	7,822	4,273				4,144					
	軽油	L	468	463	458	454	-3.0%	-100%	△		
				139	0	0					
二酸化炭素総排出量合計 ※(H30年度 中部電力(株)二酸化炭素排出 係数を使用)		kg-CO ₂	31,649	31,599	31,459	31,364	-0.9%	-37.1%	○		
2	一般廃棄物	kg	677	670	663	657	-3.0%	14%	△		
				678	884	772					
	産業廃棄物	kg	5,999	5,939	5,879	5,819	-3.0%	-42.3%	○		
				6,517	5,910	3,462					
廃棄物排出量合計		kg	6,676	6,609	6,542	6,476	-2.0%	-34.6%	○		
				7,195	6,794	4,232					
3	水使用量目標	m ³	107	105	104	104	-3.0%	-37.4%	○		
				74	88	67					
4	上質紙購入量	kg	393 (33.4)	389	385	370	-6.0%	-73.3%	○		
				315	399	105					
6	地域貢献活動	会社周辺道路のカーブミラー清掃をおこなった。									

※評価の表示方法

「○」 … 目標達成
「×」 … 目標未達
「△」 … 業務により

評価及び次年度に向けての改善点

環境経営方針	評価	原因	次年度に向けて
1. 省エネルギーの推進によるCO ₂ 排出量の削減	電力使用は11.2%増加したが、灯油、ガス、ガソリン、軽油使用料が大幅に減少した。	電力使用の増加は猛暑の影響によるエアコン使用時間の増加。それ以外の減少は業務縮小による要員が大きい。	月例会議でのPDCAサイクルの共有を図る。
2. 廃棄物の3R (Reduce/Reuse/Recycle)の推進	一般廃棄物が14%増加したが、産業廃棄物は減少した。	一般廃棄物については退職者等の荷物や倉庫の整理により増加。産業廃棄物の減少は業務によるものである。	引き続き3Rの推進に努めてゆく。
3. 4. 作業改善による無駄の削減	紙使用量の削減と印刷量が削減出来ている。	業務に係わることでもあるが、脱紙使用が進んできていることが要因のひとつと考えられる。	月例会議でのPDCAサイクルの共有を図る。
5. 6. 環境負荷低減と環境保全の継続的活動	水使用量、二酸化炭素排出量が大幅に削減した。	業務縮小がひとつの要因ではあるが、無駄な水使用に取り組んだ結果とも思われる。	月例会議でのPDCAサイクルの共有を図る。

※2023年度の環境経営計画は2022年度の環境経営計画を継続することとする。

7.環境関連法規制等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

下記の法令に基づき確認した結果、違反はありませんでした。

環境管理主任者 阿部 公直

確認年月：2024年6月22日

法規制等の名称	遵守事項	遵守状況
環境基本法	公害防止・自然環境保全 廃棄物の適正処理、再資源等の利用	○
循環型社会形成推進基本法	廃棄物等の発生抑制、循環利用、適正処分	○
電気工事業法	電気工作物の工事、維持及び運用を規制により、公共の安全を確保し、環境の保全を図る法	○
廃棄物処理法	廃棄物処理業者と契約し産業廃棄物・manifestの発行及び管理(manifestは電子manifestを使用)。水銀含有成分については処理能力のある廃棄物処理業者に委託している。	○
建設リサイクル法	分別解体計画等を提出 該当する工事が発生した場合は対応する	○
家電リサイクル法	事業所でのテレビ・エアコン・冷蔵庫・洗濯機の処分時に規制有。家電リサイクル券の管理及びリサイクル業者への委託	○
自動車リサイクル法	社有車両の購入時・売却時・廃車時に規制有	○
静岡市環境基本条例	公害防止及び環境の保全措置(良好な環境の保全と将来への継承)	○
静岡市廃棄物の処理及び軽減に関する条例	廃棄物の適正処理及び再生利用の促進等による減量促進	○
グリーン購入法	環境物品等の調達推進	○
フロン排出抑制法	①空調機廃棄時:冷媒回収破壊処理業者に委託 ②漏えいの定期点検:パッケージエアコンは3か月に一度実施	○

※ 関係当局から環境関連法規等に対する違反や訴訟は過去3年間ありませんでした。

また、周辺住民や周辺企業等からも苦情はありませんでした。

今後も法令・条例等を遵守して事業活動や環境活動に努め、さらに、工事の際は周辺住民や周辺企業に対し地域貢献が出来るように心がけます。

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

1. 今年度は引き続き若手の育成に注力しており、売り上げは例年並みとなっています。

当面は若手の育成、技術習得度を高めるようにしております。

2. 電気使用量の増加について

事業が減少した結果、各種数値は下がりましたがエアコン利用による電気代は人数や事業件数に関わらず広い部屋を冷却する為、猛暑であった夏場の使用電力が増加しました。そこで、環境負荷を低減させるために、

①エアコンや冷蔵を効率の良い製品に買い替えました。

②エアコンの温度設定を極端に下げないよう周知しています。

3. その他環境負荷の低減につながる取り組みとして

①社用車の利用についても外出頻度を極力減らすことや自転車利用も推進しております。

②また、使い捨て製品の使用も減らすように努めております。□

③買い物には買い物かごを使用、レジ袋を貰わない。

④農業に使用する水も本年度から全量雨水を使用することにし、水利用の低減に努めています。

4. 対基準年比の削減について

対基準年比からすると全体的に大幅に数値は下がっている。一方で過去3ヶ年の売上高平均値を踏まえ比較すると、過去3年間の売上高平均は6億4,200万円で2023年度は3億300万円で53%減少。それに対して、二酸化炭素総排出量は37.1%マイナスである。環境レポート記載で測定している10項目を押しなべて計算することが相応しいか微妙であるが、全体の削減平均も42.5%であり、売上高減少と比較すれば未達の部分もある。

それは2で述べているようにオフィスの規模が変更されていないことに起因すると思われるが、これまでに様々な削減に努力してきた結果は十分に出ていると思われる。

5. 環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画及び実施体制について

本年も継続するものとする。